東京都立産業技術大学院大学
ADVANCED INSTITUTE OF INDUSTRIAL TECHNOLOGY

履修証明プログラム

健康寿命デザイン講座

少子高齢化時代の健康寿命の課題にデザインで挑む

▸高齢者に寄り添って生きる　ライフデザイン指向のユーザ

自分または家族の生き方の構想を、認知・身体機能や
ヘルスケアの観点からデザインしたい方

▸高齢者の介護を仕事にしている　介護ケアデザイン指向のユーザ

介護における施設ケアや在宅ケアを、認知症医療学、心理学、生体学、
ビジネスの観点からデザインしたい方

▸医療ビジネスに関わる　ビジネスデザイン指向のユーザ

健康寿命に関連したビジネスを、新たにデザインしたい方

▸行政に関わる　社会システムデザイン指向のユーザ

健康寿命の延伸や心身の病気・障害に対するケアのために必要な制度を、
社会システムの観点からデザインしたい方

選考試験実施（募集人数30名）

令和3年9月

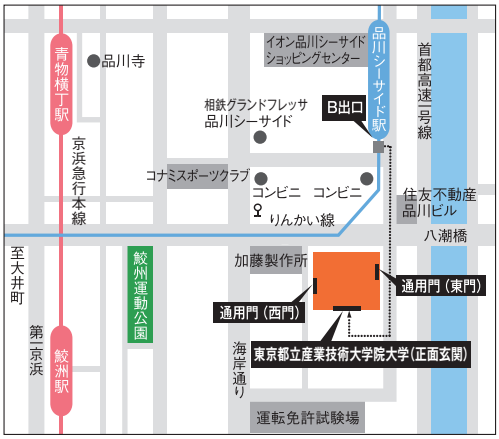
履修期間

令和3年10月～令和4年3月

アクセス

● 電車
○りんかい線／品川シーサイド駅下車 徒歩3分
○京浜急行線／青物横丁駅下車 徒歩10分
○京浜急行線／鮫洲駅下車 徒歩9分

● 都営バス
「都立産業技術高専品川キャンパス前」下車徒歩2分
○品川駅港南口⇔八潮パークタウン［品91系統］
○品川駅高輪口⇔大井競馬場［品93系統］
○大井町駅東口⇔八潮パークタウン［井92系統］



プログラムの概要：https://aiit.ac.jp/master_program/certification_program/

本プログラムは、少子高齢化時代の健康寿命分野の価値創造と問題解決のために、医療福祉とデザイン、情報工学を融合し、健康寿命に関連する分野の知識の習得と、デザイン思考を応用した具体的な手法の習得を目的としています。

人類がかつて遭遇したことのない高齢化社会をわが国は迎えようとしています。一人の高齢者を支える現役世代の人数は、1965年には10.8人であったのが、2015年には2.3人となり、2065年には1.3人にまで減少すると予想されています。このままではわが国の医療・福祉・経済が破綻してしまうことは火を見るよりも明らかであり、国家の根幹を支える家庭や地域社会の崩壊にもつながると危惧されます。これを防ぐには、少子化を改善して現役世代の人数を増やすことに加え、健康寿命の延伸すなわち天寿を全うする直前まで健康で過ごせるようにすることと、不幸にも病気や障害を負った場合にもできるだけ長い間、住み慣れた自宅と地域で過ごせる態勢を整えることが必要です。そのためには、中年期からのメタボリックシンドロームの適切な管理とその重要性の啓発や社会制度の整備、健診データの健康維持のための有効活用と言ったソフト面に加え、心身の健康を維持・管理・増進するための、あるいは病気や障害を負ったひとのケアやリハビリのためのデバイスの開発などが必要です。本プログラムは“少子高齢化時代の健康寿命”というわが国の喫緊の課題への対処法を、多面的なアプローチにより探ろうというものです。

講義内容

必須科目：健康寿命デザイン特論（30時間/20コマ）

- 健康寿命デザイン概論
- 医療福祉からみた健康寿命（1~3）
- 芸術療法からみた健康寿命
- ユニバーサルデザインと健康寿命
- 環境色彩からみた健康寿命
- 知的システムと健康寿命
- 生活支援技術からみた健康寿命
- 認知・身体機能、ヘルスケアからみた健康寿命（1~2）
- 脳の発達とメンタルヘルス
- 睡眠習慣と健康寿命
- 健康教育プログラムの開発と健康寿命
- 診断支援アプリケーションと健康寿命
- ヘルスケアシステム・ソリューションと健康寿命
- 健康寿命におけるデジタルソリューションの基盤技術と先端事例
- 健康寿命デザインPBL

などを予定

選択科目（2講義（45時間/30コマ）以上選択）

デザイン系
コミュニケーションデザイン特論、プロダクトデザイン特別演習、DESIGN [RE] THINKING、デジタルデザイン実習などを予定

情報工学系
機械学習特論、システムインテグレーション特論、サービス工学特論、データサイエンス特別演習などを予定

ビジネス系
統計・数理計量ファイナンス特別演習、技術経営戦略特論、マネジメントシステム応用特論、事業方向性設計演習、ネットワーク事業設計特論、スタートアップ戦略特論、イノベーティブサービス技術特論、地域経済分析特別演習などを予定